



令和2年7月8日
水管理・国土保全局
気象

岐阜県と長野県では引き続き河川の増水や氾濫に警戒

岐阜県と長野県では、このままの状況が続けば、発表している大雨特別警報は警報に切り替えとなる見込みです。ただし、これまでに降った大雨により岐阜県において、木曽川水系飛騨川が氾濫しました。

河川の増水や氾濫に関する留意事項を別添の通りお知らせいたします。

問い合わせ先

国土交通省水管理・国土保全局河川環境課河川保全企画室

企画専門官 久保 (内線 35-462)

代表 03-5253-8111 直通 03-5253-8448

F A X 03-5253-1603

気象庁予報部予報課気象防災推進室

大規模氾濫対策気象官 五十嵐 (内線 3196)

代表 03-3212-8341 F A X 03-3211-8303

岐阜県と長野県では引き続き河川の増水や氾濫に警戒

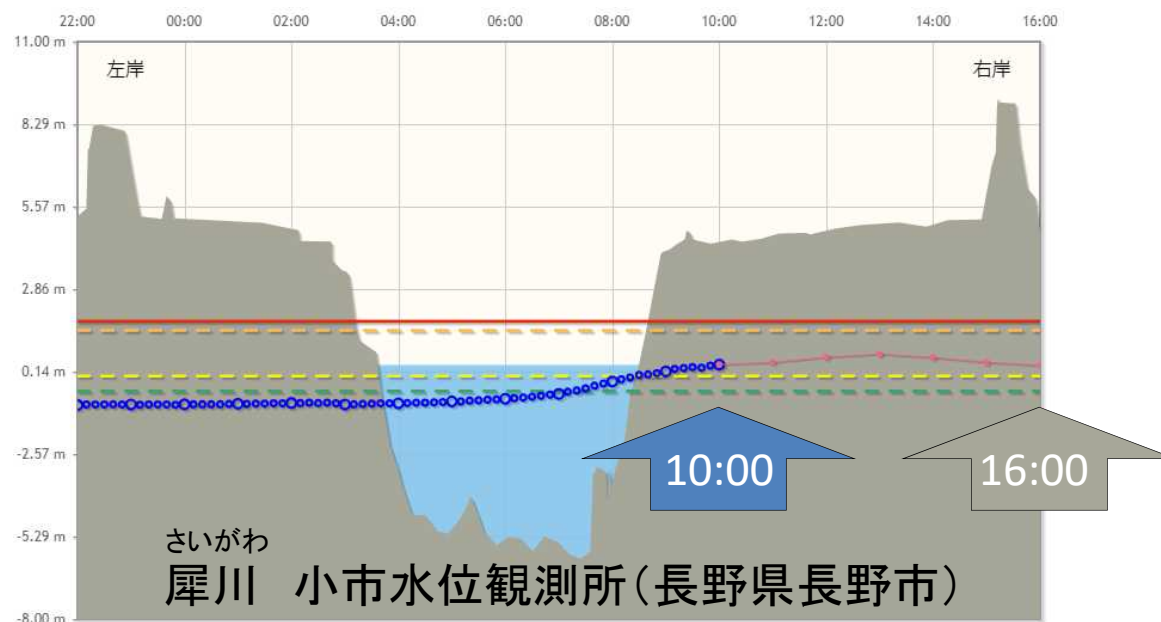
- 岐阜県と長野県では、このままの状況が続けば、発表している大雨特別警報は警報に切り替えとなる見込みです。
- 大雨特別警報が警報に切り替わった後も油断することなく、地元市町村が発令している避難勧告(警戒レベル4)等に従って身の安全を確保してください。
- これまでに降った大雨により木曽川水系飛騨川(岐阜県)などで河川が氾濫しました。また、信濃川水系犀川(長野県)などでは、氾濫するおそれのある氾濫危険水位を超過し、危険な状態です。
- また、木曽川水系木曽川では、時間をかけて水位が上昇しますが、氾濫のおそれはありません。
- 各地の河川事務所や気象台などが発表する河川の氾濫に関する詳細な情報に留意し、引き続き安全な場所に留まるなど、厳重に警戒してください。
- 個々の河川に特化した情報(指定河川洪水予報)が発表されている河川は、気象庁HP等の「危険度分布」や「川の防災情報」で確認することができます。

河川の状況

7月8日
10時時点の資料

氾濫危険情報を発表している水位周知河川（国管理河川）（警戒レベル4相当）

しなのがわ さいがわ ・ 信濃川水系犀川（北陸・長野県）



凡例（線の色）

氾濫危険水位

避難判断水位

氾濫注意水位

水防団待機水位

※このほか、都道府県が管理する河川でも氾濫が発生しているところがあります。都道府県と気象台が共同で発表している最新の指定河川洪水予報を確認してください。

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。

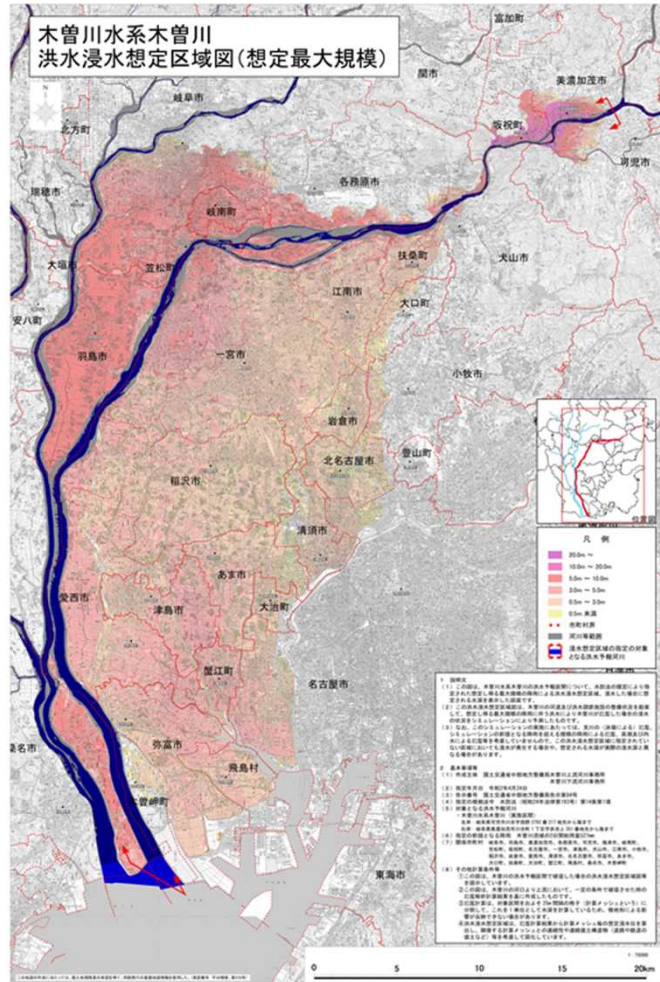
（気象庁HP：<https://www.jma.go.jp/jma/index.html>）

河川の水位、ダムの放流量などの情報は「川の防災情報」をご覧ください。

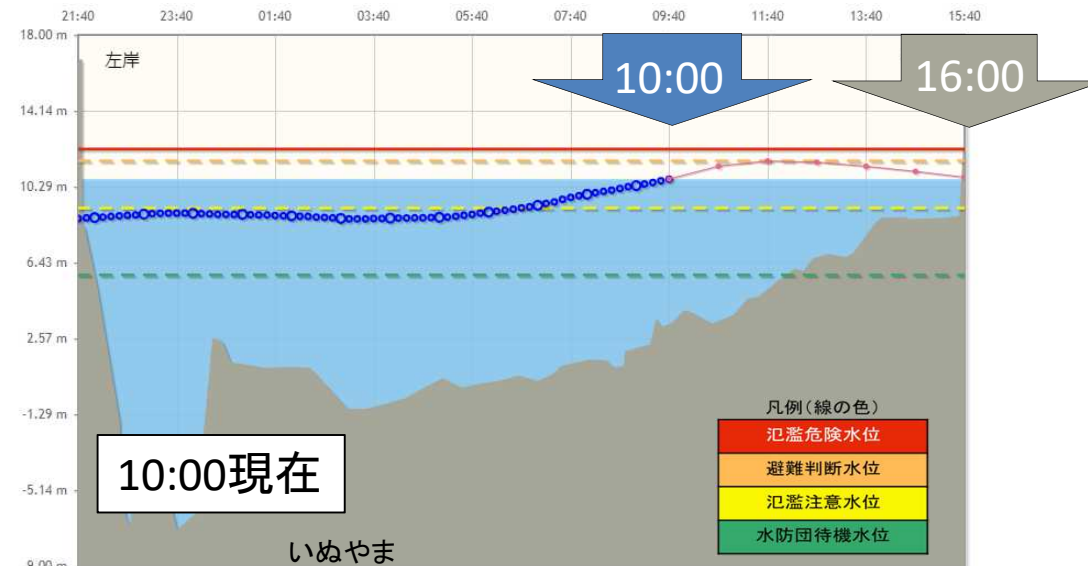
（国土交通省 川の防災情報HP：<https://www.river.go.jp/portal>）

河川の状況

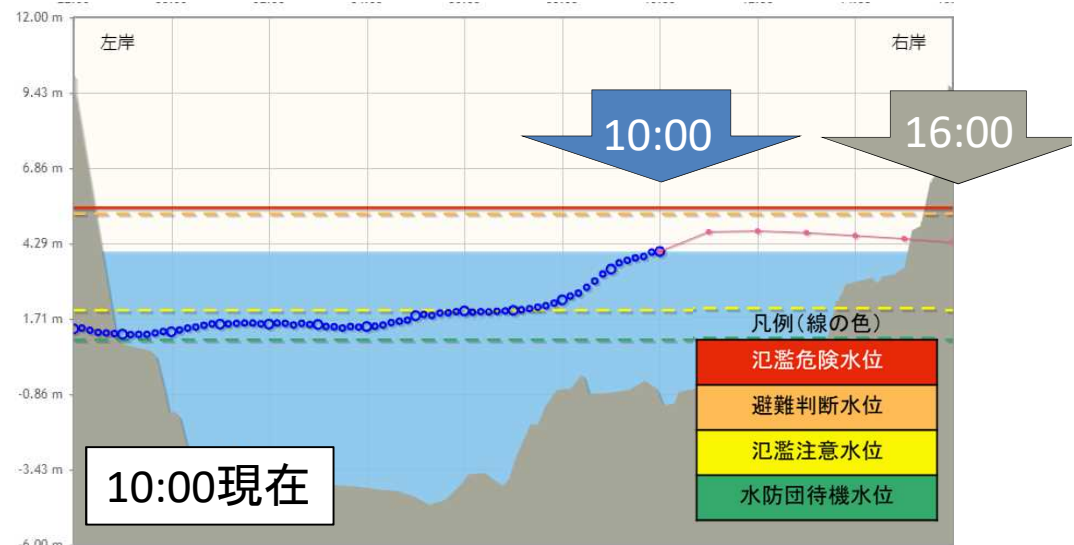
7月8日
10時時点の資料



木曽川水系木曽川の
浸水想定区域図



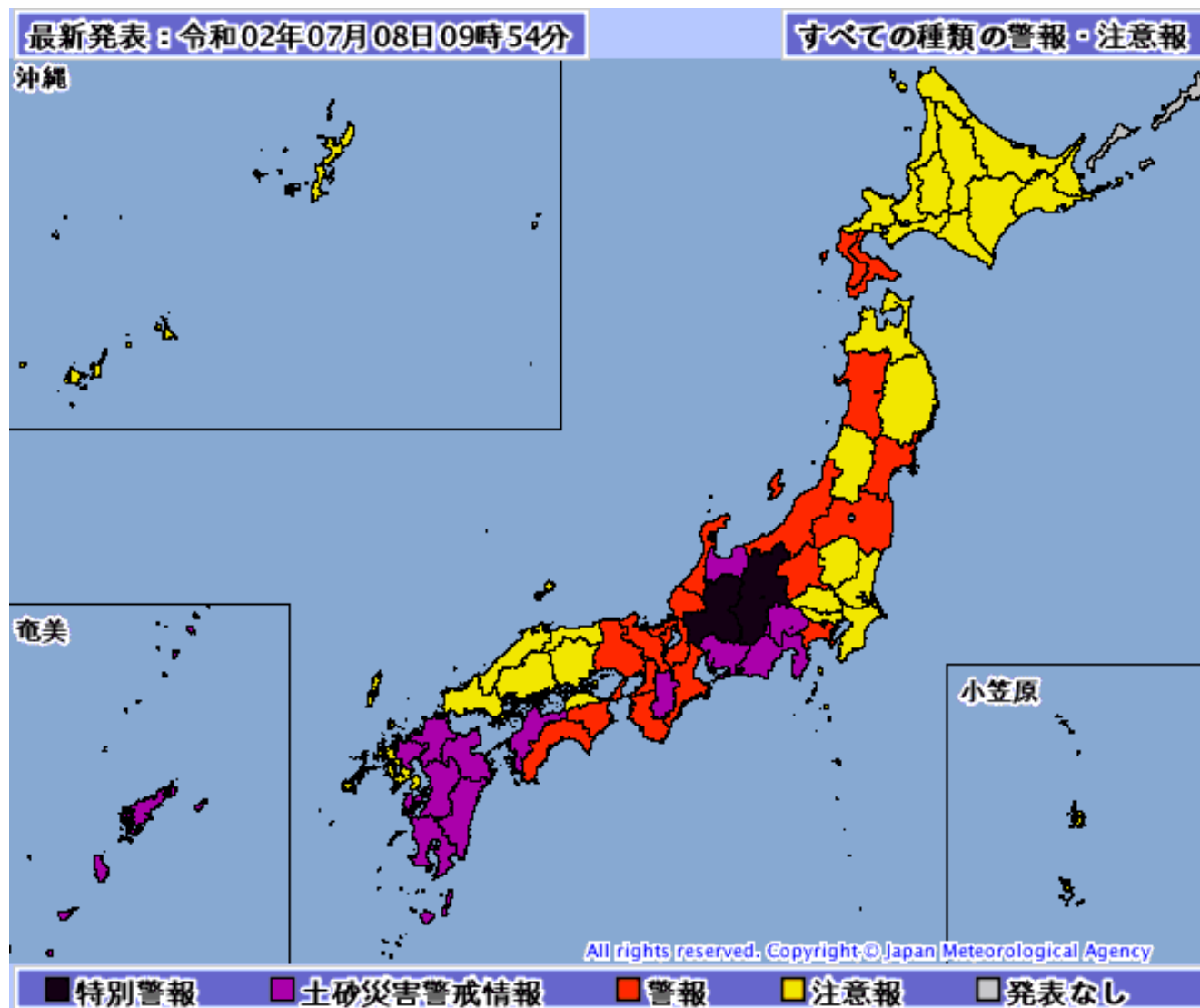
木曽川 犬山水位観測所(愛知県犬山市)



長良川 忠節水位観測所(岐阜県岐阜市)

特別警報・警報の発表状況

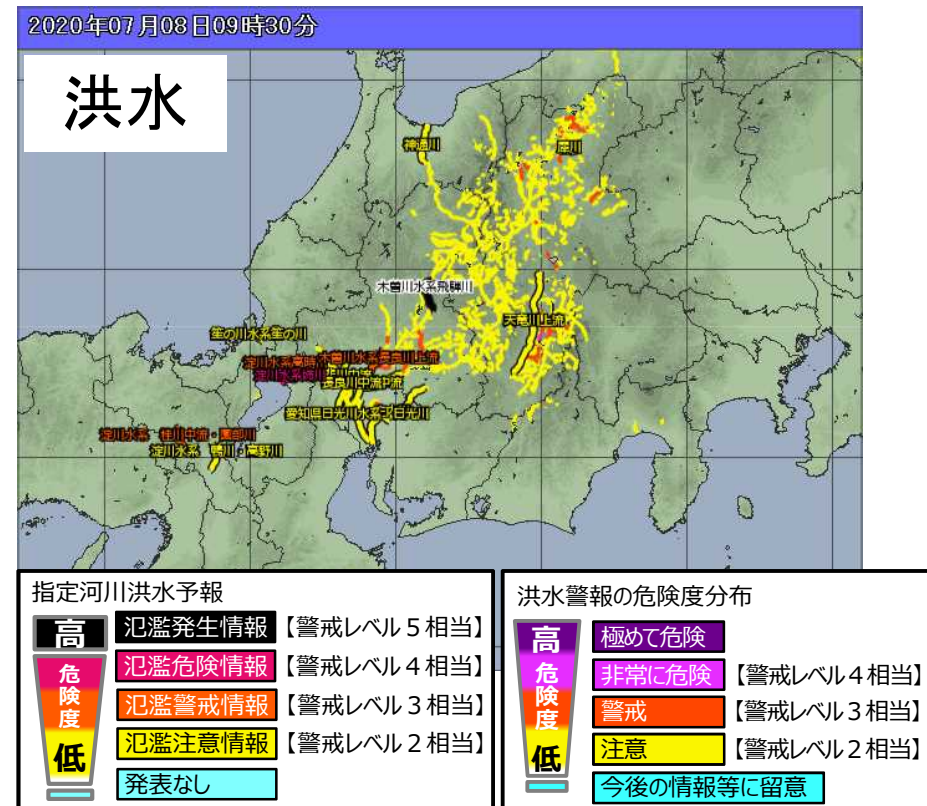
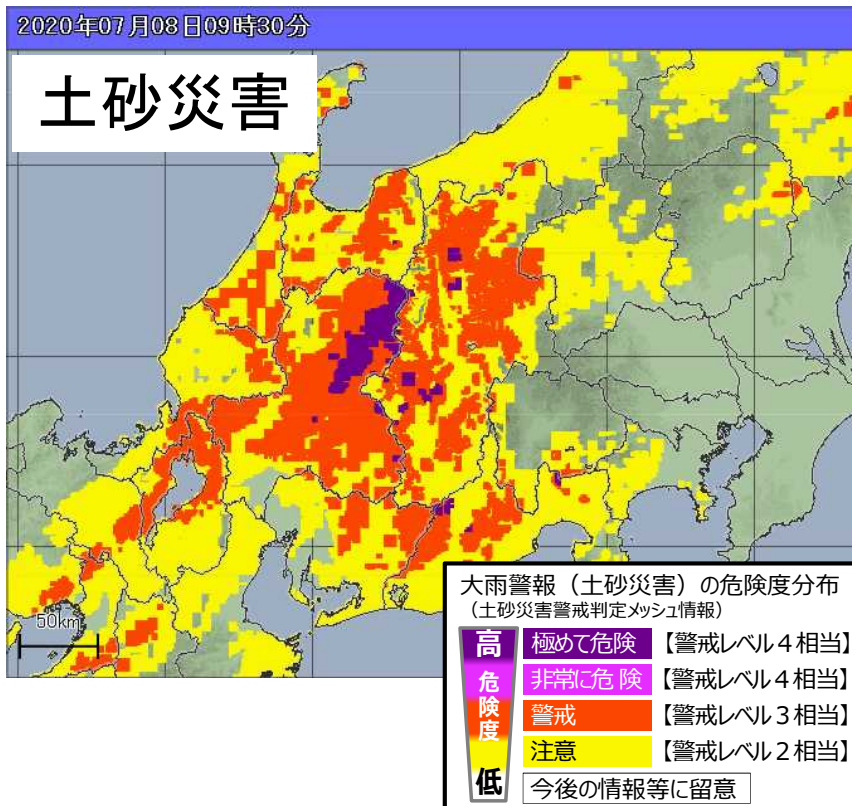
7月8日
10時時点の資料



今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(気象警報・注意報：<https://www.jma.go.jp/jp/warn/>)

危険度分布

7月8日
10時時点の資料



- 危険度分布において、5段階に色分けされたうち、最大の危険度（濃い紫）となっている場所では、土砂崩れや浸水により、すでに避難が困難となっているおそれがあります。
- 上から2段階目の危険度（うす紫）となっている場所では、災害が切迫し、避難が必要とされる警戒レベル4に相当する状況です。
- これらの場所において、土砂災害警戒区域や浸水想定区域等の危険な場所からまだ避難できていない方は、直ちに避難の判断をしてください。

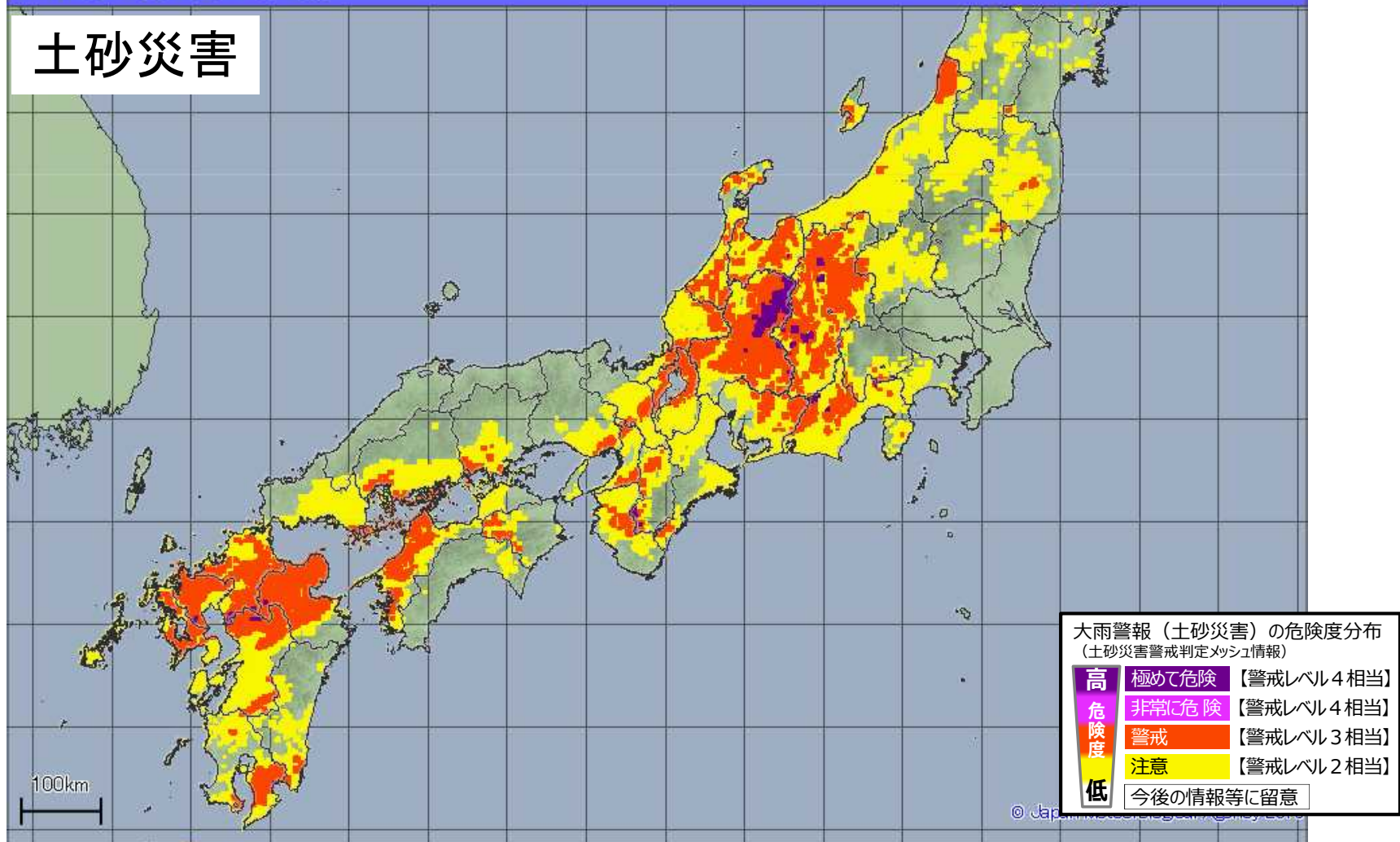
今後の予想を含めた最新の情報は地元の气象台が発表した気象情報をご利用ください。
（危険度分布：<https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/flood.html>）

危険度分布

7月8日
10時時点の資料

2020年07月08日09時30分

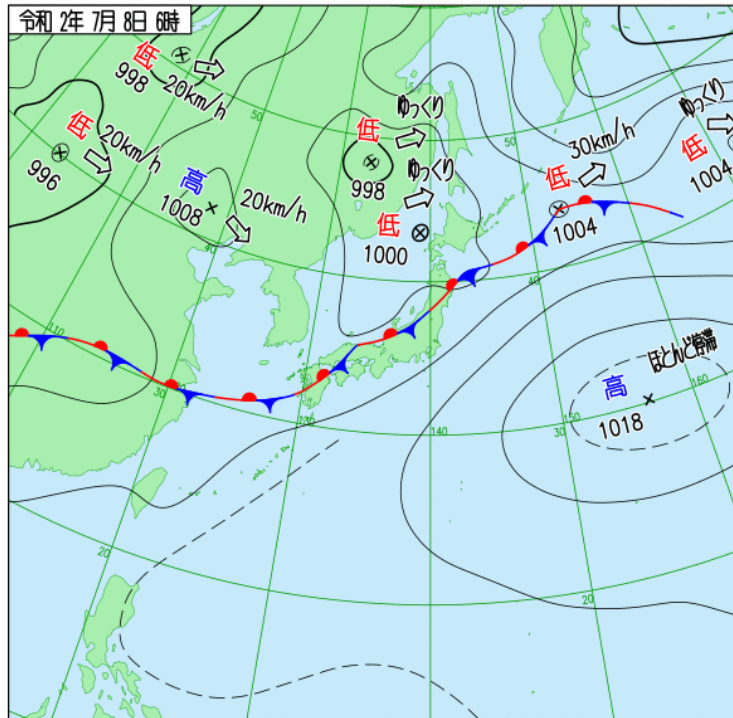
土砂災害



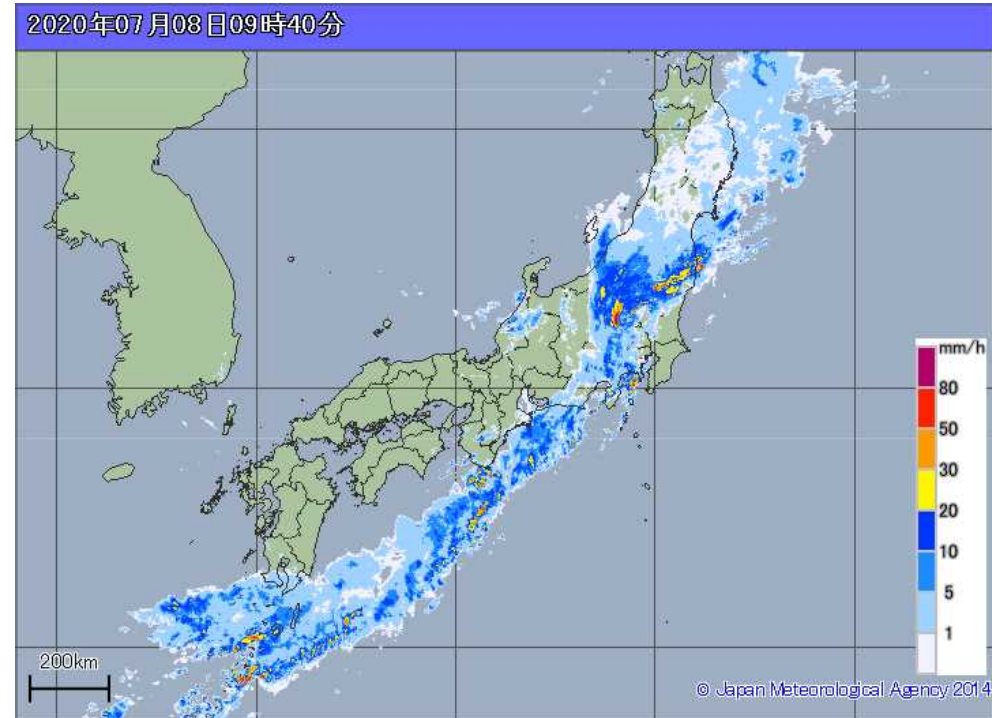
今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
（危険度分布：<https://www.jma.go.jp/jp/doshamesh/index.html>）

気象実況

7月8日
10時時点の資料



地上天気図

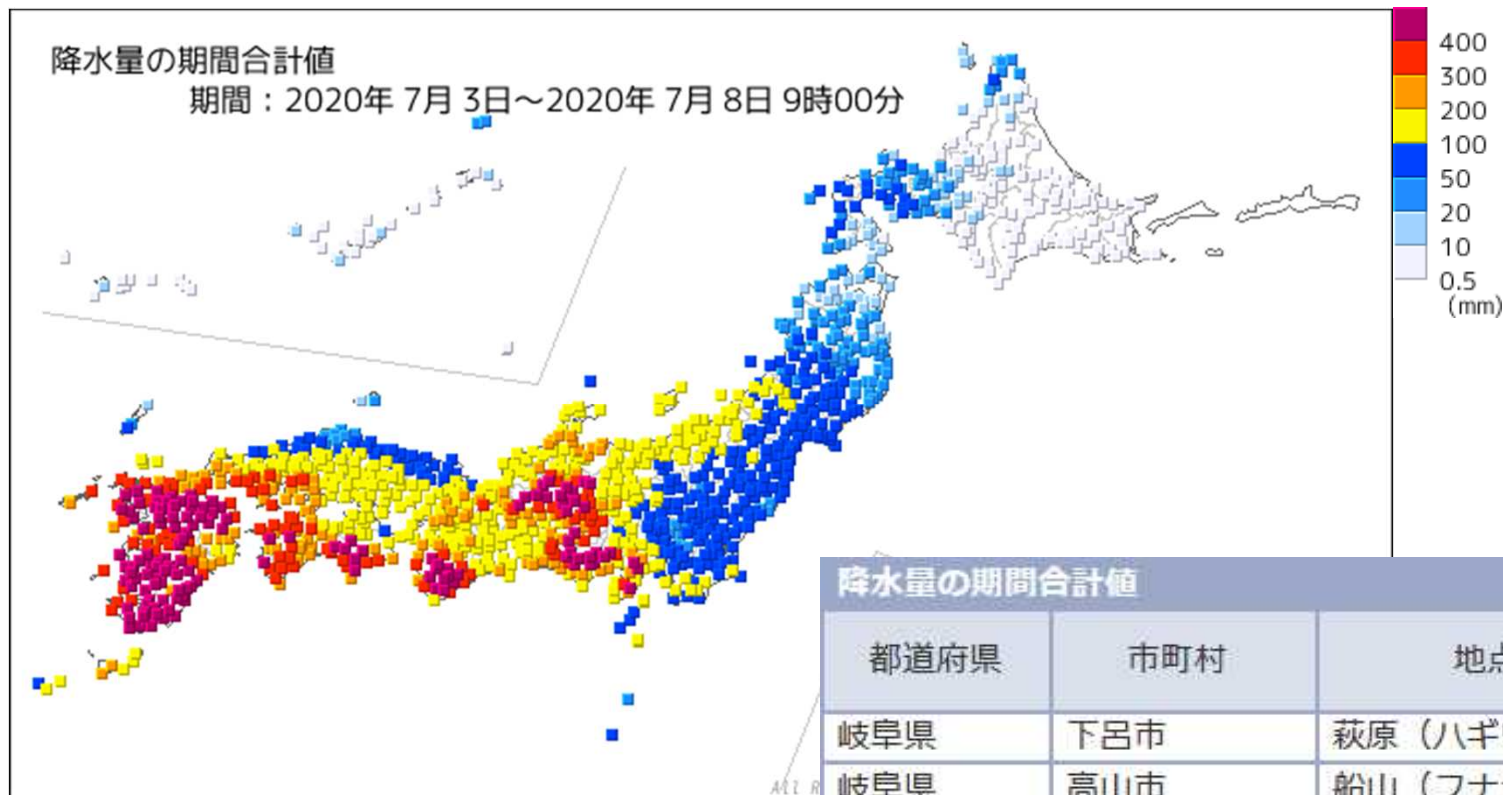


雨雲の様子

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(天気図: <https://www.jma.go.jp/jp/g3/index.html>)
(雨雲の動き (高解像度降水ナウキャスト): <https://www.jma.go.jp/jp/highresorad/>)

気象実況(降水量)

7月8日
10時時点の資料



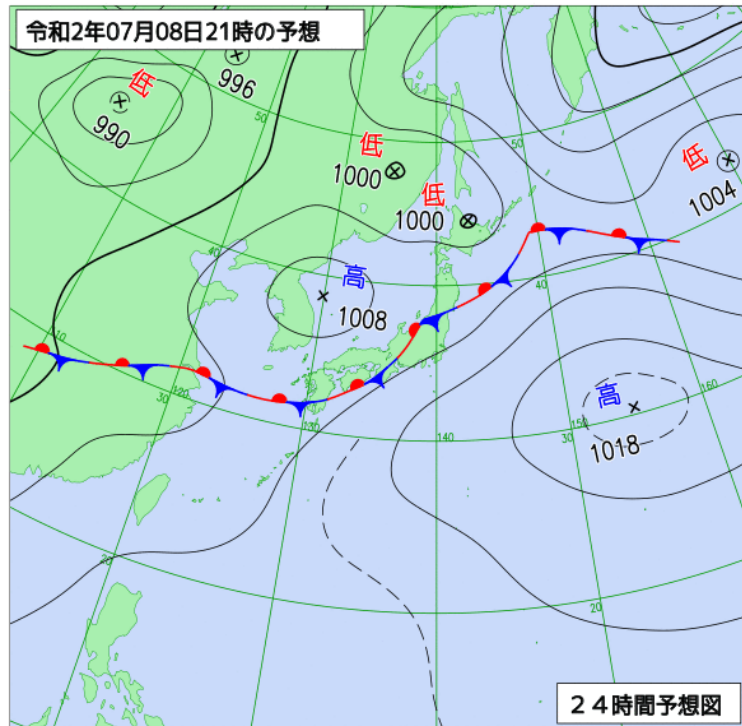
期間総降水量(3日～8日9時)

降水量の期間合計値			9時00分現在
都道府県	市町村	地点	期間合計値 mm
岐阜県	下呂市	萩原（ハギワラ）	739.5)
岐阜県	高山市	船山（フナヤマ）	628.5)
岐阜県	高山市	宮之前（ミヤノマエ）	477.0)
長野県	木曽郡王滝村	御嶽山（オンタケサン）	869.0)
長野県	下伊那郡阿智村	浪合（ナミアイ）	472.5)
長野県	松本市	上高地（カミコウチ）	463.5)

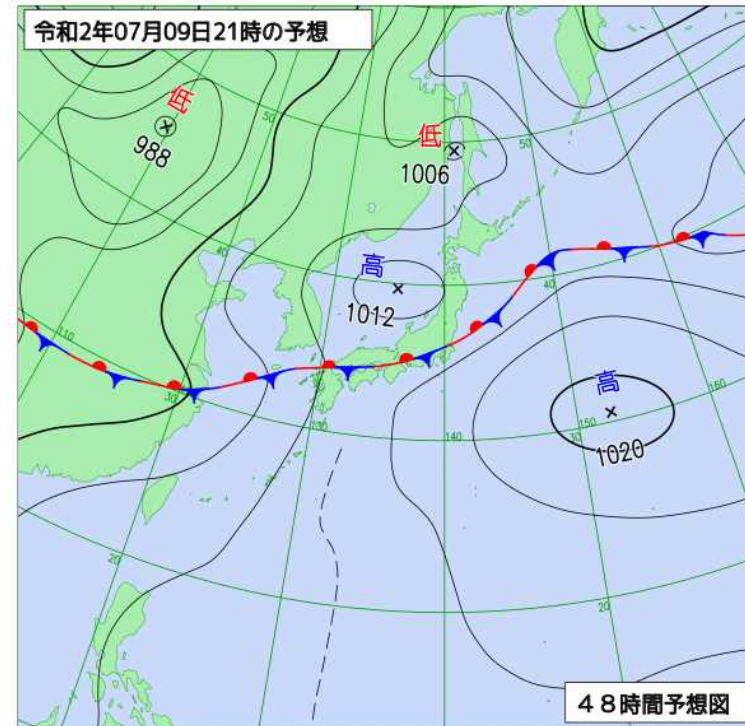
今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
（最新の観測データ：https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/pre_rct/index24_rct.html）

予想天気図

7月8日
10時時点の資料



予想天気図
(7月8日21時予想)



予想天気図
(7月9日21時予想)

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(予想天気図: <https://www.jma.go.jp/jp/g3/index.html>)

雨の警報級・注意報級の現象の期間

日		8日		9日
時		6～18	18～6	6～24
東北地方	大雨			
関東甲信地方	大雨			
北陸地方	大雨			
東海地方	大雨			
近畿地方	大雨			
中国地方	大雨			
四国地方	大雨			
九州北部地方	大雨			
九州南部	大雨			

■ 大雨の警報級となる可能性のある期間
 ■ 可能性が高い ■ 可能性がある

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
 （気象情報（雨の見通しなど）：<https://www.jma.go.jp/jp/kishojocho/>）

今後の雨の予想

地方	9日12時までの 24時間雨量	10日12時までの 24時間雨量	10日12時までの 48時間雨量
東北地方	50ミリ	およそ50ミリ	50～100ミリ
関東甲信地方	100ミリ	100～150ミリ	150～250ミリ
北陸地方	50ミリ	50～100ミリ	50～100ミリ
東海地方	200ミリ	100～150ミリ	200～300ミリ
近畿地方	150ミリ	100～150ミリ	150～250ミリ
中国地方	50ミリ	50～100ミリ	100～150ミリ
四国地方	150ミリ	200～300ミリ	200～400ミリ
九州北部地方	80ミリ	100～200ミリ	150～250ミリ
九州南部	180ミリ	200～300ミリ	300～400ミリ

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
（気象情報（雨の見通しなど）：<https://www.jma.go.jp/jp/kishojoho/>）

今後の見通し

梅雨前線は少なくとも10日頃にかけて西日本、東日本に停滞する見込みである。西日本から東北地方にかけての広い範囲で9日にかけて局地的に雷を伴った非常に激しい雨や激しい雨が降り、大雨となるおそれがあり、さらに9日以降も大雨が続くおそれがある。

土砂災害、河川の増水や氾濫、低い土地の浸水に最大級に警戒。竜巻などの激しい突風や落雷に注意。各地の気象台が発表する警報等の気象情報や気象庁ホームページの危険度分布に留意。

今後の予想を含めた最新の情報は、以下からご利用ください。

- 気象警報・注意報(大雨、洪水、暴風(雪)、波浪、高潮、大雪などによる災害への警戒・注意を呼びかける)

<https://www.jma.go.jp/jp/warn/>

- 危険度分布(どこで土砂災害、浸水害、洪水の危険度が高まると予測されているかを地図上で表示)

土砂災害
浸水害
洪水

<https://www.jma.go.jp/jp/doshamesh/>

<https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/inund.html>

<https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/flood.html>

- 各地の気象情報(気象概況や大雨の見通し)

<https://www.jma.go.jp/jp/kishojoho/>

- 台風情報(台風の位置・強さ・速度などの解析・予報、大雨や暴風の見通し)

<https://www.jma.go.jp/jp/typh/>

https://www.jma.go.jp/jp/typh/typh_text.html

- 指定河川洪水予報(国や都道府県の管理する主な河川の氾濫の危険度を予測)

<https://www.jma.go.jp/jp/flood/>

- 土砂災害警戒情報(命に危険が及ぶ土砂災害の発生が切迫したときに厳重な警戒を呼びかける)

<https://www.jma.go.jp/jp/dosha/>

- 最新の気象データ(雨雲の動き、レーダー・ナウキャスト(降水・雷・竜巻)、今後の雨、雨や風の観測データ、衛星画像)

<https://www.jma.go.jp/jp/highresorad/>

<https://www.jma.go.jp/jp/radnowc/>

<https://www.jma.go.jp/jp/kaikotan/>

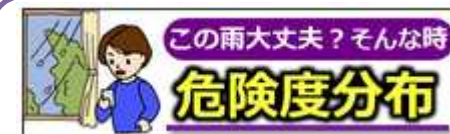
https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/pre_rct/index24_rct.html

https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/wind_rct/index_mxwsp.html

<https://www.jma.go.jp/jp/gms/>

- 14か国語による防災気象情報の提供

<https://www.jma.go.jp/jma/kokusai/multi.html>



気象庁HPのバナーをご利用ください。



気象庁防災情報
Twitter

@JMA_bousai

気象庁公式の防災情報アカウントを開設しました。台風接近や大雨のおそれがある場合等に、現況や今後の見通し、防災上の留意点、緊急会見の内容等を解説します。

(本報道発表に関するお問い合わせ)

気象庁予報部業務課:03-3211-8302

国土交通省ウェブサイト(川の防災情報)における確認方法

・「川の防災情報」で指定河川洪水予報の発表状況を確認



国土交通省 川の防災情報

"気象"×"水害・土砂災害"情報マルチモニタ

全国 北海道 東北 関東 北陸 中部 近畿 中国 四国

info お知らせがあります。

map 全国

雨の降っている地域 (XRAIN) info

気象警報・注意報 info

洪水予報の発表地域 info

観測所名 水系名 河川名 水位 (m) 観測時刻

13:20 13:21 13:22

※ 洪水予報が発表されている地域に着色されます

洪水予報の発表地域 をクリック

「川の防災情報」のURLはコチラ
<https://www.river.go.jp/portal/#80>



国土交通省 川の防災情報

洪水予報・水位周知河川情報発表地域図

関東

ダム決壊通知発表地域図

水系名 河川名 発表時刻 発表状況

利根川 荒川 利根川 荒川 利根川 荒川

9/11 6:40 / 荒川では、はん濫が発生しています。

イメージ

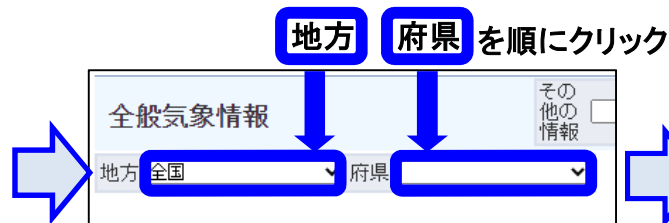
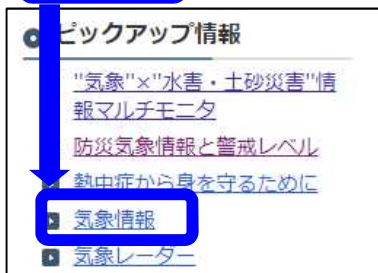
※ 発表状況には、発表がある場合のみ記載されます。

気象庁ホームページにおける今後の洪水の見込みの確認方法

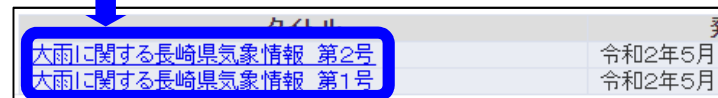
1. 「河川氾濫に関する情報」を府県気象情報で確認

ピックアップ情報の

気象情報 をクリック



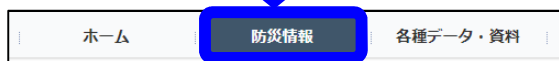
●●県気象情報 第●号 をクリック



※「河川氾濫に関する情報」は、「台風第●号に関する●●県気象情報」や「大雨に関する●●県気象情報」といった名称で発表されます。

2. 数時間先までの最新の状況は指定河川洪水予報で確認

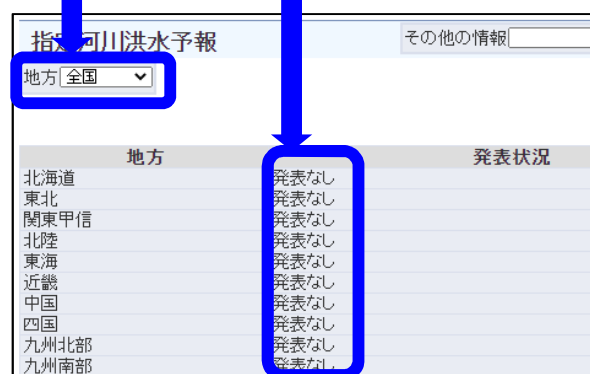
防災情報 タブをクリック



指定河川洪水予報 をクリック

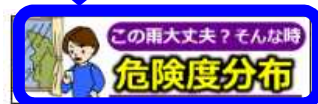


地方 または **発表状況** をクリック



※ 指定河川洪水予報の発表状況は、「洪水警報の危険度分布」でも確認できます。

危険度分布 のバナーをクリック



※ 発表状況には、発表がある場合のみ記載されます

※ 太い河川が、指定河川洪水予報の発表状況を表しています。

位置づけ・役割

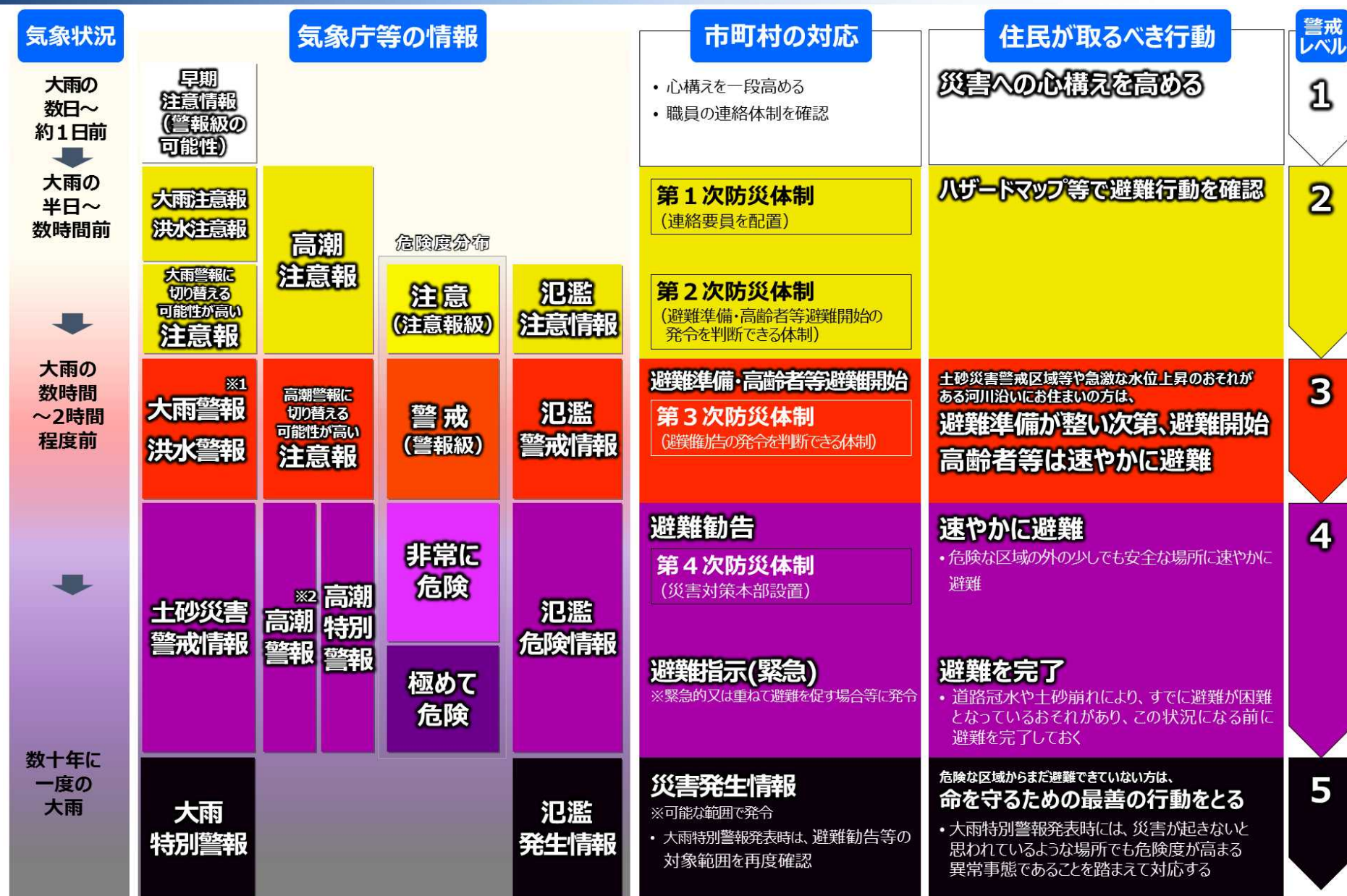
＜位置づけ＞

大雨特別警報は、避難勧告や避難指示（緊急）に相当する気象状況の次元をはるかに超えるような現象をターゲットに発表するもの。発表時には何らかの災害がすでに発生している可能性が極めて高い。

＜役割＞

- （１）土砂災害警戒区域や浸水想定区域など、災害の危険性が認められている場所からまだ避難できていない住民が直ちに命を守る行動を徹底
- （２）災害が起きないと思われているような場所においても災害の危険度が高まる異常事態であることの呼びかけ
- （３）速やかに対策を講じないと極めて甚大な被害が生じかねないとの危機感を防災関係者や住民等と共有することによる、被害拡大の防止や広域の防災支援活動の強化

(参考) 段階的に発表される防災気象情報の活用例



※1 夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、避難準備・高齢者等避難開始(警戒レベル3)に相当します。

※2 暴風警報が発表されている際の高潮警報に切り替える可能性が高い注意報は、避難勧告(警戒レベル4)に相当します。

「避難勧告等に関するガイドライン」(内閣府)に基づき気象庁において作成 17